

JAPAN LIVE YELL project in CHUBU クリエイティブ・リンク・ナゴヤ

オックスフォードが 揚輝荘でつくる 演劇公演 theater performance



Y
O
K
I
S
O

佐治はほぼどちらかしか居ない

菅沼はどっちにも来る

中尾と田内はどっちにも居ないかもしれない



2023

12.23 SAT - 24 SUN

18時開演 [17時30分開場]
*上演時間は30分です

会場: 揚輝荘 (名古屋市千種区法王町2-5-17)

アクセス 地下鉄東山線「覚王山」駅下車。1番出口より徒歩10分

チケット料金 1,000円

詳しくは裏面へ▶▶▶

オイスターズ⁰⁰が 揚輝荘でつくる演劇公演

theater performance

作・演出：平塚直隆

舞台は劇場を飛び出し、覚王山の住宅街でひととき目を引く「揚輝荘」。

中でも赤い外壁、石垣の柱、黒々とした木材がむき出しの「聴松閣」。

ヨーロッパ木造建築様式で市指定有形文化財に指定されており、

1階は英国風、2階は中国風、地階はインド風と内装は様々である。

松坂屋の初代社長が大正～昭和初期に建設し、個人の別荘としても国内外の社交の場としても開かれていた。

地下の旧舞踏場と1階の喫茶室に客席が設置され、俳優が作品間を行き来する、

建物に当て書きされた平塚直隆書き下ろし作品。

2箇所ですべて同時にスタートし、同じ時間軸で進行する2つの不条理会話劇。

最初は、揚輝荘の至る所で俳優が何かしらやっているの、観客は自由に行き来して観たいものを観る、イマーシブシアターの様なものを想像したんです。でもいろいろな制約があって白紙になりました。が、しかし待てよと、そもそも俺はそう言うのが苦手なんじゃないか…。「自由に動いていいですよ」と言われても積極的に観に行かないんじゃないか…。いや、そもそも立って観たくないだろう。もしかしたら俳優が一人も居なくなってもそこに居続けるんじゃないか…。「あ、へー、揚輝荘の床はこんな装飾がされてるんだなあ」などと建物を観てたら誘導の人に「もうここでは何も起きないんで出てください」なんて怒られるんじゃないだろうか…。そんなこんなで固定の客席案が出て来まして、同時進行で劇は始まるんですけど、観客は地下か1階どちらかしか観る事が出来ません。それはもう見切れどころではない「観られない劇」を作ります。別の場所では何が起きているか、想像を膨らませながらご覧ください。

(作・演出：平塚直隆)

出演 佐治なげる 芝原啓成 横山更紗 中尾達也 田内康介
荘加真美(劇団ジャブジャブサーキット)
菅沼翔也(ホーボーズ)
白藤花音(名古屋大学劇団新生/劇団ちゃこーる)

チケット料金 1,000円

【予約方法】

QR申込みはコチラから

<https://torioki.confetti-web.com/form/2487>



お問い合わせ

クリエイティブ・リンク・ナゴヤ TEL:052-211-9761

名古屋市中区栄三丁目18番1号 ナディアパークビジネスセンタービル19階

[e-mail] artcaravan@creative-link-nagoya.jp

[ウェブサイト] <https://creative-link-nagoya.jp>

主催：クリエイティブ・リンク・ナゴヤ、オイスターズ、愛知県芸術劇場
公益社団法人日本芸能実演家団体協議会

助成：文化庁文化芸術振興費補助金
(統括団体による文化芸術需要回復・地域活性化事業(アートキャラバン2))
独立行政法人日本芸術文化振興会

事業名：JAPAN LIVE YELL project



〈見取り図〉



【地下1F】



【1F】

